

# Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

## ミュージックセラピーで感じる喜び

障害児を持つ親の会「すぎな会」

会長 西井久美子 (にしい・くみこ)

### 「すぎな会」のはじまり

すぎな会は、療育(治療教育)という言葉がまだ知られていない33年前、障がいのある子の余暇活動など何もなかった浜田市で、発達を促す活動ができないものかと、保護者が奔走し、山口県のこども音楽センターから専門のセラピストの先生をお呼びして、ミュージックセラピーを始めた事で発足しました。

初めは楽器を揃える為に、いくつかの市の福祉行事に保護者達でマドレーヌやしめじご飯などを作り出店して、多くの楽器をコツコツ買い揃えていきました。

また場所探しにも苦労しました。みなと保育園・公民館・市の建物などお借りして、その都度各自が大きな楽器を会場まで運び、また自宅まで持ち帰るということを繰り返して続けていました。

### ミュージックセラピー

現在は活動場所も決まり、第2日曜日(変更あり)に活動しています。

午前の部は、中学生以上のメンバーで、さまざまな曲のアンサンブルを楽しんでいます。コンガやボンゴなどのパーカッションの楽器やドラムセット、それにシロフォンやキーボードなど、得意な楽器を増やしていきながら、仲間と音を合わせ、音楽を楽しんでいます。

発足当初から参加しているメンバーは、月に一度のほんの数十分のレッスンですが、ドラムのソロ演奏ができるほどの腕前になっています。そして一度卒業したメンバーが、再び戻ってきてまた楽しんでいる姿を見ると、音楽は「いつからはじめても楽しめる!」と確信します。

午後の部は小学生以下のメンバーで、音や音楽を感じて動いたり、思いきりドラムで音を出し、先生やお友達と音を合わせたり、時には積み木やひもや布といった素材を使って遊んだり、音や音楽を描いてみたり・・・という活動の中で表現やコミュニケーションの楽しさを体験しています。

大きな音が苦手だったり、人前では緊張して自分を出すことができない、コミュニケーションをとる楽しさを経験しづらかったりする子が、音楽の遊びの中で「できた!」



「わかった!」「つながった!」という喜びを感じながら成長する姿を見ることができるのは、すぎな会みんなにとっての喜びです。

日頃の活動の成果は、毎年秋の浜田市福祉フェスティバルで演奏し発表しています。

また、春には山口県周南市で行われる福祉団体の音楽コンサートへも参加し、他県の福祉施設の方達とも交流をはかっています。

### いっしょに楽しみませんか?

すぎな会では、一緒に活動する方を募集しています。親の会ではありますが、主役は障がいを持っている本人達です。

現在のメンバーは浜田市の方を中心として、遠方からも本格的なミュージックセラピーを受けに通われています。障がいの重い方でも、ちょっと発達が気になる程度の幼児さんでも、障がいの種類・障がいの程度に関係なく、また幼児から成人まで年齢に関係なく、一緒に音楽を楽しみミュージックセラピーを受けてみませんか?

また、一緒に活動して下さるボランティアさんも募集しています。

●連絡先/すぎな会会長 西井久美子 ☎0855-22-2198

